

## 南部弥六郎入部の図

### 資料紹介

南部弥六郎入部の図は、遠野市立博物館の常設展示資料です。表装されていない横約90cmの長さの料紙に、武士たちが行列を組んで歩いている様子が描かれています。これは文政7年(1824)に盛岡から遠野へ入部する南部弥六郎(義堯)とその家臣たちの様子を描いたものです。描かれた経緯などは不明ですが、同様の図が複数製作されたことがわかっています。

描かれた行列の総勢は366名で、医師、目付、同心などの役職と名前、弓や薙刀、茶弁当、傘といった道具などがつぶさに描かれ、行列の様子が詳しく見て取れます。

この図を参考にして行われているのが、南部氏遠野入部行列です。これは、寛永4年(1627)遠野南部氏が八戸から遠野に入部した際の行



▲南部氏遠野入部行列(平成21年頃の様子)。遠野町の地域づくり団体が主催。

列をイメージしたもので、郷土芸能を行列に組み込むなどオリジナリティを加え、平成10年(1998)から遠野さくらまつり\*にあわせて行われています。南部氏が遠野に到着したのが寛永4年3月12日(グレゴリオ暦1627年4月27日)で、令和9年には入部から400年を迎えます。『新編遠野市史 通史編Ⅱ 近世』も、この年にあわせて刊行予定です。

\*遠野さくらまつり…令和6年度から遠野春まつりと改称して開催。

